

「現在」と「未来」 を繋ぐもの —大学院同窓会

学長 渡邊 隆

上越教育大学は昭和53年に創設され、はや30年の月日が経過しようとしています。

今年で、学部では4、264名の卒業生を送り、大学院修士では2、922名、博士では26名の修了生が教育現場等で活躍中です。

平成16年4月から、本学は国立大学法人上越教育大学となりました。法人化後、教育と研究、そして社会貢献を目的に掲げ活動してまいりました。これを機に大学院修了生の方々と大学院同窓会の再建を支援してまいりました。

私たちの大学は「教育」というkey wordで貫かれた組織です。

教員をめざす学部生を4年間で養成し社会に送り出します。その新人教員は教育現場で活躍し、評価を受けます。その評価は本学の教育カリキュラムに向けられているのです。また、現職の教員の方々も大学院に入ってください。その方々は多くの現場の課題を胸に研究室に所属し、2カ年の教育を受け、修士論文を書き上げ、また教育現場に戻っていきます。このように本学は教員を養成し、現職教員の研鑽の場を提供しています。



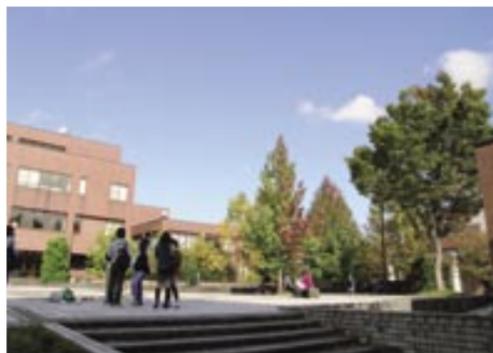
院生室での一コマ

本学での教育・研究は、いわば教育の「現在」です。そして、卒業生・修了生が教育現場で活躍することは教育の「未来」です。卒業生・修了生が大学生活を振り返って見たとき、自分たちの「現在」が本学の教育の「現在」に支えられたものでなければいけません。つまり「いい大学だった」という思いが湧き上がってこなければ、本学の教育の「現在」は魂をもたないのです。

同窓生が自分たちの受けたものを懐かしく思い、あの教育の「現在」は次の「未来」に必ず繋がるものだという思いが同窓生の中に存在することが大学の理想なのです。

同窓会は教育の「現在」と「未来」を繋いでくれる貴重な組織です。同窓会の皆さんの思いは「教育」を支援し、日本の教育の基盤を支える大きな力となります。教育の「現在」「未来」の鎖の輪を強く、そして一つでも長く、繋いでいきたいのです。

同窓会の皆さんが、あの大学院時代は、よかった、楽しかった、と思いつけるような大学院教育・研究の環境をつくることをめざしていきたいと思っています。



秋を迎えたキャンパス

大学院同窓会への問い合わせ先

大学院同窓会事務局長

中村 雅彦

(自然系教育講座理科分野 教授)

E-mail: masahiko@juen.ac.jp

修了生からのお便り

未来(あした)の学びをつくる貴重な財産

つながりからネットワーク、そして協働へ

より一層の専門性の強化が求められています。



柏崎養護学校名物「車いすホッケー」(ユニバーサルスポーツ)

自立活動とは、各教科や道徳等に加え、特別支援学校にのみ位置づけられている領域です。

この教育の目的や目標を実現するために設けられた領域であり、特別支援教育に変わってもその重要性は変わりません。それは、専門性向上を図る一つの指針でもあります。

自身の研究の継続と現場での実践、さらに特別支援教育への対応も視野に、現在、上越自立活動研究会に参加しています。この研究会では、現場の視点や実践を核に、「face to face」を基本としながら、「つながり」や「協働」をモットーに活動しています。大学の藤

プロフィール

長谷川 紘 (はせがわ こう)

新潟県立柏崎養護学校教諭

平成13年度本学大学院学校教育研究科障害児教育専攻修了

現在、上越自立活動研究会事務局企画運営担当。

本人曰く「ネットワークは夜開く、私はもっばら飲み会担当です」

HP: 上越自立活動研究会

http://www.juen.ac.jp/lab/kasahara/foruma.html



特殊教育から 特別支援教育へ

今、わが国では、特殊教育から特別支援教育へとパラダイムの転換期を迎えています。特殊教育

育諸学校は特別支援学校と呼称変更され、地域のセンターとしての役割も担うこととなります。そのため、学校や教師には、



特別支援教育Q&A。好評をいただき、第2弾を作成予定

井和子先生、笠原芳隆先生、丸山昭生先生からもアドバイザーとして入っていただき、現場の教師と問題意識を共有しながら、月に1回程度のペースで学習会を行っています。一人では解決できないことも、様々な専門性を持つ人間がつながりあい協働することで道が開けます。昨年度末には、その成果として「特別支援教育Q&A」を作成し、県内の特別支援学校や特別支援学級に配布させていただくことができました。

また、全国に点在する自立活動研究会とネットワークを組み、毎年8月には、上越教育大学を会場に自立活動研究フォーラムを開催しています。上越という一地方でも、ネットワーク化を図ることで

全国規模の成果や情報を共有できます。これは、この研究会の大きな特徴の一つでもあります。

本学で学ぶ皆さんへ

パソコンが、インターネットの普及で飛躍的にその役割と価値を高めたように、人とつながりあうことは、学びや成長には欠くことのできない大切な要素ではないかと思えます。上越教育大学には、大学自身の持つネットワークはもちろんなことながら、全国からの現職派遣院生と共に学ぶことができるという特筆すべき環境があります。若い感性と意欲、現職の経験と知恵、それらのコラボレート(協働)により、他にはない学びをきつと体験することができはります。つながりからネットワークへ、それは皆さんにとっても貴重な財産になることでしょう。

同窓生としてつながりあい、教育の発展のために、ともに成長し合えることを期待しています。